





























ラグナマリーナの桟橋では出航前にビルフィッシュガールからエールが送られ、記念写真を撮る事ができる。これは、大会前に気合いが入り良い思い出にもなる。













二日間でランディングされたカジキ。会場には沢山の見学者も集まり、参加者は満面の笑みを浮かべながらも、釣ってきたカジキの重さを気にかけていた。

















沖合は台風の影響が残り見た目以上にうねりが入っていて釣り難い状況になっていた。その中でのランディングやT&Rはさすがである。









大会本部前はカジキがあがってくると沢山の皆さんが集まってきて、初めて見る大きな魚に驚いていた。



ラグナシアで開催されたウェルカムパーティ。参加チーム紹介やその日の釣果などが発表され、綺麗で壮大な花火のショーに参加者は大いに盛り上がっていた。



所属ピルフィッシュトーナンント カロカカカジキ (T&R) 50lb







チームサンタナ

チームサンタナ

レバンテ

レバンテ

レネゲード











NTPマリンズ

クレア

センブリ

センブリⅡ

NONBIRI











猫丸

フォーナインズ

ウェイビー ライン

ファンタジア

8月14日土曜日、15日日曜日の二日間で、今年もビルフィッシャーの熱い戦いが繰り広げられた。日本も確実に気候が変化してきており、ともすれば亜熱帯の島国のような天気が続き、海面の水温も上昇し、黒潮が沸き上がるように帯を広げれば当然カジキがこの地区のポイントに入る確率も高く、今年の蒲郡ビルフィッシュトーナメントは例年以上の盛り上がりを見せていた。参加艇数は 25 艇。早朝7時のスタートフィッシングとともに25艇の参加艇はそれぞれのポイントに向けてアクセルを上げていった。海面は先日通過した台風の影響でうねりが残っており、決していいコンディションではなかったが、ポイントについた参加艇はそれぞれの秘めた作戦を実行に移していた。最初にヒットコールを発したのはレネゲード。その瞬間、参加艇全員のスイッチが入ったのは言うまでもない。続いてフェアライン、ウェイビーラインとヒットコールが続き国際マリンVHS73 チャンネルはヒットコールの嵐となった。蒲郡からわずか

2 時間弱でカジキが釣れることは、きっと多くの皆さんは知らない事であろう。現に大会本部のあるラグーナ蒲郡の会場ではラグナシアに遊びに来ていて、館内放送で「今、カジキが釣り上げられてきました!」と言うのを聞いて実際に目の前でカジキを見た皆さんのリアクションは「えっ、なにこれ?本物?」、「こんなのどこで釣れるの?」、「大きい~!」と、皆さんが同じような事を言って驚いていた。実際に本当に釣れるのだから、この東海地区の釣り文化の可能性の大きさを感じずにはいられなかった。初日の夜にはラグナシアでウェルカムパーティが行われ、チーム紹介と共に初日の釣果が発表された。二日間の結果はヒット(カジキがルアーにアタックする事)数は43。ランディング(カジキを船に釣上げる事)数は8。タグ&リリース(生体保護のため国際ルールで認められたタグを背中に打ち、甦生して海に放す事)数が8となり、大いに盛り上がった大会となった。















